

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【公開番号】特開2007-307252(P2007-307252A)

【公開日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-046

【出願番号】特願2006-140898(P2006-140898)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月19日(2009.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が打ち込まれる遊技領域が前面に形成された遊技盤と、  
前記遊技盤に設けられた複数種類の入賞口と、  
所定の演出画像を認識可能な表示領域が前面に形成された複数の表示体と、  
前記複数種類の入賞口のうち予め定められた始動口に遊技球が入賞したことにもとづいて遊技者に所定の利益を付与するか否か判定する当落判定手段と、  
前記当落判定手段により遊技者に利益を付与すると判定したときに遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段と、を備え、  
前記利益付与状態制御手段により前記利益付与状態に制御するときに前記複数の表示体にて特定の演出結果を表示する遊技機において、

前記複数の表示体は、遊技者の正面に設けられた第一の表示体と該第一の表示体の周囲に設けられた第二の表示体とから構成され、  
前記第一の表示体に対して前記第二の表示体を所定の折曲角度で隣接させて複数面の表示領域が形成された多面形成手段と、

前記複数面の表示領域から擬似的に单一の表示領域となる擬似单一領域を形成するべく各々の表示領域を密に隣接させた複合表示手段と、をさらに備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記第一の表示体から離散するとともに前記第一の表示体を遮蔽する駆動位置に前記第二の表示体を駆動する駆動手段と、

前記駆動手段により前記第一の表示体から離散された前記第二の表示体のみを隣接させることで前記多面形成手段よりも減数された複数面の表示領域に切替えられる多面切替手段と、を備え、

前記複合表示手段は、

前記多面形成手段により前記第一の表示体および前記第二の表示体から形成された複数面の表示領域にて、前記擬似单一表示領域を形成する第一の複合表示手段と、

前記多面切替手段により前記第二の表示体から形成された複数面の表示領域にて、前記第一の複合表示手段よりも表示領域の狭い擬似单一表示領域を形成する第二の複合表示手段と、を含むことを特徴とする請求項1記載の遊技機。

**【請求項 3】**

前記第二の複合表示手段は、前記駆動手段により前記第一の表示体と表示領域が平行面をなす駆動位置に前記第二の表示体を駆動することで平面状の擬似単一表示領域を形成することを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

(解決手段 1)

遊技球が打ち込まれる遊技領域が前面に形成された遊技盤と、前記遊技盤に設けられた複数種類の入賞口と、所定の演出画像を認識可能な表示領域が前面に形成された複数の表示体と、前記複数種類の入賞口のうち予め定められた始動口に遊技球が入賞したことにもとづいて遊技者に所定の利益を付与するか否か判定する当落判定手段と、前記当落判定手段により遊技者に利益を付与すると判定したときに遊技者に利益を付与する利益付与状態に制御する利益付与状態制御手段と、を備え、前記利益付与状態制御手段により前記利益付与状態に制御するときに前記複数の表示体にて特定の演出結果を表示する遊技機において、前記複数の表示体は、遊技者の正面に設けられた第一の表示体と該第一の表示体の周囲に設けられた第二の表示体とから構成され、前記第一の表示体に対して前記第二の表示体を所定の折曲角度で隣接させることで複数面の表示領域が形成された多面形成手段と、前記複数面の表示領域から擬似的に单一の表示領域となる擬似単一領域を形成するべく各々の表示領域を密に隣接させた複合表示手段と、をさらに備えることを特徴とする遊技機。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、「多面形成手段」とは、「第一の表示体」として遊技者の正面（センター役物 300 の開口部 301 の後端面や遊技盤 5 と平行状態をなす。）に固定された「中液晶表示装置 115c」と、「第二の表示体」として中液晶表示装置 115c の左右両端部で隣接し且つその多端部が前面側（遊技者側）に折り曲げられた「左液晶表示装置 115a および右液晶表示装置 115b」と、から液晶表示装置 115 が構成されることで、三面の表示領域が前面側に向けて形成された態様である。ここでは、中液晶表示装置 115c に対して左液晶表示装置 115a および右液晶表示装置 115b の折曲角度を適切に設定（例えば、40 度）することで、中液晶表示装置 115c の表示領域を遊技者が視認しながら他の表示領域（左液晶表示装置 115a および右液晶表示装置 115b の表示領域）も遊技者の視界に入れることができる。また、「複合表示手段」とは、各々の表示装置を隣接させることで複数面の表示領域（特殊形状レンズ 122 の前面）も密に隣接し、複数面の表示領域ではあるが互いに隣接する側の端部を遊技者に意識させることのない擬似的に单一の表示領域（擬似単一表示領域）が形成された態様である。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この場合、複数の表示体では、多面形成手段により第一の表示体に対して第二の表示体

を所定の折曲角度で隣接させて複数面の表示領域を形成したときに、広い表示面積を確保することができるとともに、遊技者の前後方向に対して複数面の表示領域が厚み（幅）を有しており、奥行き感を強調した演出表示を実行することができる。また、多面形成手段により第一の表示体および第二の表示体から形成された複数面の表示領域では、第一の表示体が遊技者の正面に設けられるとともに第二の表示体が第一の表示体の周囲に設けられることで、第一の表示体の表示領域に注目しながら、第二の表示体の表示領域も遊技者の視界に入れることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

さらに、複数の表示体では、複合表示手段により擬似的に单一の表示領域となる擬似单一領域を形成するべく各々の表示領域を密に隣接させることで、複数の表示体を用いたとしても複数の表示体が互いに隣接する側の端部で各々の表示領域が分散されることがない。これにより、複数の表示体が互いに隣接する側の端部を遊技者に意識させず、複数面の表示領域にまたがった演出画像を表示したとしても、遊技者に当該演出画像をストレスなく視認させることができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

（解決手段2）

前記第一の表示体から離散するとともに前記第一の表示体を遮蔽する駆動位置に前記第二の表示体を駆動する駆動手段と、前記駆動手段により前記第一の表示体から離散された前記第二の表示体のみを隣接させることで前記多面形成手段よりも減数された複数面の表示領域に切替えられる多面切替手段と、を備え、前記複合表示手段は、前記多面形成手段により前記第一の表示体および前記第二の表示体から形成された複数面の表示領域にて、前記擬似单一表示領域を形成する第一の複合表示手段と、前記多面切替手段により前記第二の表示体から形成された複数面の表示領域にて、前記第一の複合表示手段よりも表示領域の狭い擬似单一表示領域を形成する第二の複合表示手段と、を含むことを特徴とする解決手段1記載の遊技機。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

ここで、「駆動手段」とは、左液晶表示装置115aおよび右液晶表示装置115bを動作させるための「左右の駆動部モータ658a, 658bや左右の回転部モータ668a, 668bから構成される動作機構」である。また、「多面切替手段」とは、中液晶表示装置115cを遊技者の正面に固定し、その左右両端部で左液晶表示装置115aおよび右液晶表示装置115bが隣接した三面駆動位置（図13（A）参照）から、中液晶表示装置115cの前方にて左液晶表示装置115aおよび右液晶表示装置115bが隣接した二面駆動位置（図13（E）参照）に駆動することで、三面の表示領域が切替えられて二面の表示領域が形成される態様である。ここでは、左液晶表示装置115aおよび右液晶表示装置115bの二面の表示領域が中液晶表示装置115cの表示領域よりも広い

表示面積であることから、左液晶表示装置 115a および右液晶表示装置 115b により中液晶表示装置 115c の表示領域が遮蔽される。また、「複合表示手段」には、三面の表示領域が形成された三面駆動位置にて、擬似的に単一の表示領域が形成された態様である「第一の複合表示手段」と、二面の表示領域が形成された二面駆動位置にて、中液晶表示装置 115c の表示領域が遮蔽された分だけ表示面積が狭くなるとともに、擬似的に単一の表示領域が形成された態様である「第二の複合表示手段」と、が含まれる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

この場合、多面切替手段により第一の表示体から離散された第二の表示体のみを隣接させることで多面形成手段よりも減数された複数面の表示領域に切替えられたときには、第二の表示体により第一の表示体が遮蔽されることで複数面の表示領域の態様も切替えられ、遊技者に意外性を与えることができる。また、多面切替手段により第二の表示体から形成された複数面の表示領域に切替えられたときには、第二の表示体により第一の表示体が遮蔽されることで、第一の表示体の方向から遊技者の視点を移動させる必要がない。したがって、複数面の表示領域が異なる態様を形成可能な構成として、各々の表示領域を用途に応じて使用することができ、これに伴って表示領域に表示される演出画像による演出効果も最大限に高めることができ、遊技の興趣の低下を抑制することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(解決手段3)

前記第二の複合表示手段は、前記駆動手段により前記第一の表示体と表示領域が平行面をなす駆動位置に前記第二の表示体を駆動することで平面状の擬似単一表示領域を形成することを特徴とする解決手段2記載の遊技機。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

(解決手段4)

前記複数の表示体および前記駆動手段は、前記遊技盤の後方に配置されることを特徴とする解決手段2または解決手段3に記載の遊技機。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

(解決手段5)

前記駆動手段は、回転モータにより前記第二の表示体を回転動作させる回転駆動手段と、前記回転モータによる回転動作を直線動作に変換するラックピニオン機構部により前記第二の表示体を直線動作させる直線駆動手段と、を備え、前記多面切替手段は、前記多面

形成手段により形成された複数面の表示領域を、前記回転駆動手段により前記第二の表示体を回転動作させることで前記第一の表示体から離散させた後、前記直線駆動手段により前記第二の表示体を直線動作させることで前記第一の表示体を遮蔽することを特徴とする解決手段2乃至解決手段4のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

(解決手段6)

前記複数の表示体の前方に配置され、前記駆動手段により前記第二の表示体が前記第一の表示体から離散する過程にて互いの表示体の間隙から後方への遊技球の流入を阻止する保護板を有することを特徴とする解決手段2乃至解決手段5のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

(解決手段7)

前記遊技盤の一部が厚み方向に貫通した貫通孔に対して取り付けられ、この貫通孔に対応して割り貫かれた開口部を有する中央装飾体をさらに備え、前記中央装飾体は、その開口部を通じて前面側から前記複数面の表示領域にて表示される演出画像を視認可能とすることを特徴とする解決手段1乃至解決手段6のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

(解決手段8)

前記中央装飾体は、転動する遊技球が前記始動口へ誘導され易い誘導通路を備えた転動部を有し、前記駆動手段は、前記中央装飾体に接触することなく前記遊技盤に直接取り付けられることを特徴とする解決手段7記載の遊技機。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

(解決手段9)

前記複数の表示体は、互いに隣接する側の外表面が凸状に湾曲して形成され、この位置で前面側に向けて表示光を屈折する光透過性の屈折部材を有することを特徴とする解決手段1乃至解決手段8のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0035】

(解決手段10)

前記複数の表示体は、表示光を発する表示面とともに、その周縁部に縁枠が形成された表示パネルと、前記表示パネルの前面に配置されるとともに、互いの表示体が隣接する側の外表面が凸状に湾曲して形成され、この位置で前面側に向けて表示光を屈折する光透過性の屈折部材と、を有し、前記凸状に湾曲された外表面にて前記表示面から発せられた表示光が屈折されることで、前面側から前記周縁部を視認不可能（または視認困難）に形成された前記表示領域を有することを特徴とする解決手段1乃至解決手段9のいずれかに記載の遊技機。

## 【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0038】

(解決手段11)

前記屈折部材は、前記表示パネルの前面に密着して配置されることを特徴とする解決手段10記載の遊技機。

## 【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0040】

(解決手段12)

前記表示パネルは、各画素を配列した液晶パネルであり、互いの表示体が隣接する側の前記周縁部の近傍にて画素ピッチが密に形成されていることを特徴とする解決手段10または解決手段11に記載の遊技機。

## 【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0043】

(解決手段13)

前記複数の表示体に表示される演出画像を同時に表示制御する表示体制御手段を備えることを特徴とする解決手段1乃至解決手段12のいずれかに記載の遊技機。